科目番号	59021	分類	専門科目 環境保健学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	災害看護学 （ Disaster Health Sciences ）					1 配当セメスター 通年

担当者	○岸　恵美子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 災害救護に求められる医療従事者の能力を分析し、災害発生時におけるチーム医療の在り方について探求的に学ぶ。医療従事者に求められる災害救護の能力を醸成するための教育の在り方、教育環境の整備の進め方についても学ぶ。また、災害救護のグローバリゼーションに対応できるようにするために、諸外国特に近隣のアジア地区の医療保健状況について学ぶ。さらに、災害発生時の災害弱者（災害時要求誤射）に対する救護の在り方について学ぶ。 【目標】 １．災害看護に関する科学的知見の現状を理解する。 ２．日本および諸外国の医療保健状況に関する今日的課題を把握する。 ３．災害救護能力を向上させるための具体的なアプローチを習得する。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
	○	3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
	○	6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	大規模災害の歴史的概観 災害救護におけるチーム医療のあり方（事例を通して） 災害に強い地域づくり 災害発生時の国際連携のあり方	岸 他１名
第２回	看護基礎教育および継続教育における災害看護のあり方・やり方 災害弱者に対する対応	
第３回	災害に関連した法令 ＡＢＣ等の特殊災害への対応	
第4～15回	コロキウム ①文献抄読 ・環境衛生学 ・環境保健学 ・環境化学　に関する文献 ②15 分レクチャー 特定の課題について 15 分間でプレゼンテーションし、ディスカッションを行う	

事前・事後学習	事前学習：災害看護・災害医療の実態、日本の政策等について理解しておく 事後学習：災害看護・災害医療に対する自らの考え方を明確にし、看護職としての役割を考慮し、これを実践できるよう努める。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	抄読会への出席状況および文献抄読および 15 分レクチャーの内容・プレゼンテーションにより評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	ハンドアウト資料
備　　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。